

## 日本橋駅(地下鉄堺筋線・千日前線)⑥

## 野次さん喜多さんも訪れた日本橋

近鉄日本橋駅(近鉄難波線) 恵美須町駅(地下鉄堺筋線・堺駅電車阪堺線)  
 なんば駅(南海本線・高野線) 今宮戎駅(南海高野線)

「大阪あそ歩マップ集」  
 その3 No.130



## 地下鉄日本橋駅

## ①紀州街道の道標

大坂から堺・紀州に至る街道で、古代には「岸の辺の道」、また「住吉街道」とも呼ばれました。大坂の南玄関に位置することから長町(現在の日本橋)は、旅籠宿や木賃宿が立ち並ぶ宿場町として発展しました。長町は十返舎一九の『東海道中膝栗毛』にも登場し、弥次郎兵衛・喜多八の両人は、長町七丁目(現在の日本橋四・五丁目の中ほど)の分洞河内屋を拠点に大坂見物をしています。



## ②高島屋東別館

大正12年(1923)に松坂屋(当時はいとう呉服店)が出店。当初は木造三階建てでしたが、昭和12年(1937)に現在の建物に改築し、昭和41年(1966)に松坂屋が移転した後に高島屋が購入了。大正期から昭和初期の堺筋は、日本橋の松坂屋以外にも北浜の三越、備後町の白木屋、長堀橋の高島屋と、百貨店が軒を並べたので「百貨店通り」と呼ばれ、大阪のメインストリートでした。

## ③大乘坊(毘沙門天)

▼もとは四天王寺東北方牛崎(現

在の筆ヶ崎町)にありましたが、織田信長の石山合戦(元亀元年〔1570〕~天正8年〔1580〕)から逃れるために難波村名呉町の現在地に移りました。「長町の毘沙門さん」と篤く信仰され、本尊秘仏の「毘沙門天王立像」は日本の四大毘沙門天王像のひとつで、毎年5月と11月の第2日曜日に御開帳されます。

## ④眺望閣跡

明治21年(1888)、現在のNTT浪速ビルあたりに開業した遊園地「有宝地」内に建立された高さ31メートルのパノラマ式高塔です。翌年(1889)に北野茶屋町の遊園地「有楽園」内に「凌雲閣」(高さ39メートル)ができると、「ミナミの五階」「キタの九階」と呼ばれて賑わいました。

## ⑤五階百貨店

眺望閣に押し寄せた観客をターゲットに古物市が立ち、やがて「五階昼店」と呼ばれました。古物商人たちは、眺望閣が取り壊されてからも営業を続け、やがて現在地に定着して「五階百貨店」を名乗りました。



## ⑥日本橋総合案内所(でんでんタウン)

平成18年(2006)設置。来街者向けの総合案内所です。「日本橋プロジェクト」から生まれたキャラクター「普々ちゃん」関連グッズの販売コーナーもあります。

## ⑦名呉橋跡

上古、このあたりは白砂青松の景勝地で、呉の国から織女たちが渡海して、この浜に着岸したので「名呉の海」「名呉の浜」などと呼ばれました。次第に陸地化して、この「名呉」が「名呉町」となり、さらに転じて「長町」となったといえます。

## 地下鉄恵美須町駅

